

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 母と子の健康づくり事業（すこやかマタニティ教室）
-------------------	---------------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	2	母子保健の充実
主要な施策	1	妊産婦や乳幼児の保健指導の推進
事務事業番号	003	事務事業コード 12221003 事業開始年度 平成 1 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	妊産婦保健指導経費
------	------	------------	-----------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 妊婦とその家族
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 保健師による沐浴・おむつ交換・抱き方などの実習体験、家族の妊婦疑似体験、先輩ママとの交流会、栄養士による食生活についての講話 回数 年 3 回（4 日間） 実施人数 5 5 人
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 妊婦が妊娠中の健康管理ができ、家族の理解と協力を得て順調な妊娠期を過ごし、安心して出産・育児ができる。教室に参加することで、親としての準備ができる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> 母子保健法

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	55	55	55	55	55
			実績値	47				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	27	265	48	48	48	144
合 計				27	265	48	48	48	144
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,035	539			
			嘱 託 員	千円	30	33			
			臨時職員	千円	24	25			
			合 計		1,089	597			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
妊娠期から虐待の未然防止や子育てを地域で支 えていくことは重要な支援であり市の事業とし て実施していくことは妥当と考える。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
妊婦とその家族を対象に妊娠・出産・育児につ いての知識の提供や実技を学ぶことで親としての 準備が高められる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
母子手帳交付時の勧奨や第1子の妊婦への個人 通知など、周知方法を工夫することで参加者 を増やし、出産、育児等についての知識の向上 を図る。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
事業で使用する教材など、必要最低限の経費で あり、削減は難しい。			

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	妊娠中の心身の健康を保つとともに、出産後の子育ての面からも本事業の必要性は極めて高い。
-----------	----------------------------------	---------------------------------------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）